



# 宇和島城通信

# 3

2009.12



今年は、昨年に引き続いて三之丸跡の石垣修理を行っています。また、城山の樹木管理についても取り組みを始めました。

三之丸跡は、石垣修理がメインですが、遊歩道や解説板も設置して、ほとんどなくなってしまった三之丸のことを、少しでもイメージがわくような仕掛けをする予定で、3月末の竣工を目指しています。

**【上の写真】** 石垣を解体したあとに、その法面の断面の土を確認した様子です。土の固さや色や含んでいる石の違いなどから線を引きしていきます。このことから、江戸時代に2回、明治以降に1回の少なくとも計3回の修理（恐らく地震被害?）を確認することができました。

**【左の写真】** 石垣背後から見つかった防空壕の跡です。第二次大戦時のものと推定しています。穴を掘り、柱を立て、木組みしたうえで、その間に板を張り土をかぶせていたものと思われます。柱間は約1m間隔で、幅は1.2m程度の決して広くない空間です。このほかにも、すぐ近くに2基の防空壕を確認しています。これらの防空壕のことをご存知の方は、情報提供いただければと思っていますので、文化課までご連絡ください。

# 城山を市民の里山へ

城山は、江戸時代から今に至るまで、伊達家と市民の皆さんの手で、大切に引き継がれてきた宇和島の宝ですが、今、その価値が失われかねない状況にあります。

## ◆城山の価値

城山は、天守や石垣を始めとした「城」の部分と、約400種あるといわれている豊かな照葉の森としての「山」の部分、それぞれに価値があります。これらが混ざり合って調和し、約10ヘクタールの範囲が「国史跡」として昭和12年に指定を受けています。

## ◆城山の歩み

城山が今のような姿になったのは、藤堂高虎が慶長6年(1601)に築城を完成したことにはじまります。元和元年(1615)には、伊達政宗の長男にあたる伊達秀宗が宇和島10万石でお国入りし、2代藩主宗利が寛文4年～11年(1664～1671)にかけて、天守や石垣などの大改修を行いました。その後、天災のためたびたび修理されていたようですが、石垣などの姿は、宗利が改修したときの姿をとどめていると考えられています。明治になって、政府(兵部省)の管理下となりましたが、明治23年に伊達宗城や市民の尽力により伊達家に払い下げられました。そのときの宗城らの嘆願書に、以下のような言葉があります。

家祖開興の  
旧蹟に係り  
古木鬱葱  
頗る幽致を為し  
永世保存  
可致勝区に候

訳すと「城山は先祖のゆかりある場所で、古木が鬱蒼<sup>うっそう</sup>と茂り景色もよく、永久に保存しなければならない、すばらしい場所だ」、という意味になります。

そして、昭和24年には伊達家より市へ譲渡され、城山が一般の方にも開放されました。その後、城山に武道館を建設する話もありましたが、市民の熱意により中止され、変わらぬ姿のまま現在に至っています。

## ◆緑はもろ刃の剣

明治以降の約150年間、城山は江戸時代のときのように十分な管理を行うことが難しくなりました。現在、城山の日常管理は2人のシルバー人材センター会員が当たっていますが、隅々まではなかなか管理が行き届いていない状況です。緑は確かに人に安らぎを与えてくれる城山の魅力の一つではありますが、クスなどの成長の早い樹木が大きく伸長し、以下のようなことが懸念される状況になっています。

### ●文化財の破壊

石垣などが樹木の根の影響で破壊されている箇所がいくつかあります。根の伸びる力(伸長圧)は1平方センチ当たり10kgもあるそうです。

### ●周辺への危険

城山周辺は明治以降、堀が次々と埋め立てられ、市街地化が進み、今では山際まで住宅などが建てられています。台風時に民有地へ倒木することも過去にありました。



樹木の根の影響で崩壊した代右衛門丸の石垣



平成16年度の台風により倒木した樹木

●自然維持力の退化

特定の木が大きくなると、その下に光が入らなくなることで草木類が育たなくなり、土が雨水で流れてしまい、保水力など土の力が衰えていきます。また、植物の種類も減少していきます。現在、城山の土は1時間当たり100ml程度（管理が行き届いている森林は約250ml）の保水力しかありません。



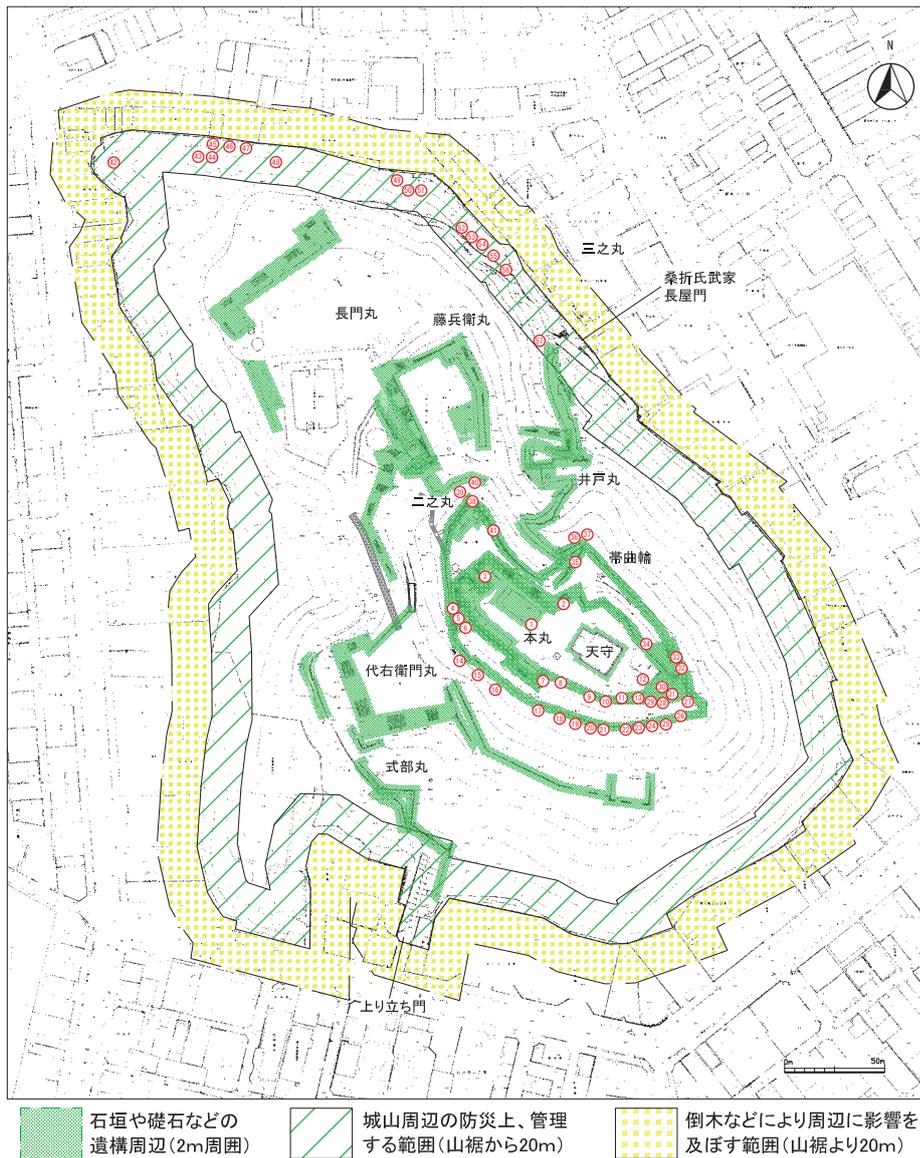
暗く、裸地化が進んでいる城山の斜面

◆城山の里親になってください！

愛媛大学の下條信行名誉教授（文化財）や農学部江崎次夫教授（森林保全）の力を借りながら、文化財保護と危険防止に重点を置いた城山の樹木の管理計画を策定しました。下の図は、それを示したもので、当面は緑色（文化財保護）・緑斜線（周辺への危険防止）の範囲の管理を優先していきます。まず伸ばしすぎた樹木を除間伐し、後継樹がきちんと育つよう環境を整え見守っていきます。

赤丸数字は今年除間伐する約60本で、今後も除間伐は行政が責任を持って進めますが、皆さんにはその後の下刈りや苗木の植付・育成などの作業に力を貸してもらいたいと思っています。

時間はかかりますが、きっと、参加された皆さんは城山への愛着が深まって、登城する人たちは、皆さんが育てた心地よい環境のなかで、「来て良かった、また来て見たい」と思っただけだと確信しています。皆さんのご理解ご協力よろしくをお願いします。



愛媛大学 下條信行名誉教授



愛媛大学農学部 江崎次夫教授



天守前にあるクスについても、御大所の礎石を壊しており、倒木の危険もあるため、除木します。

# お城・お知らせ・瓦版

## ◆天守のすす払い、今年も実施します！

今年も下記の日時で天守のすす払いを実施します。参加していただける人は、文化課までご連絡ください。

- 日 時：12月13日(日) 9:00～11:00
- 場 所：天守 ※集合場所：天守前広場
- おまけ：すす払いが終了後、ご希望の人は天守や城山を学芸員が本丸から下りながら、各所でガイドします。所要時間は1時間程度で、正午には終了予定です。



## ◆ボランティアの会、たちあげます！

これからのお城山の活用は、市民の皆さんと一緒にいろいろな取り組みをしていきたいと考えています。一緒に汗を流したり、お知恵を貸していただける人、老若男女問わず、募集します。人数がある程度になりましたら、今年度内にその準備会を開催します。やってみたいと思われた人は文化課までご連絡ください。

### 《 ボランティア活動内容メニュー 》

- ・案内板やベンチなどの簡単な設備の作成
- ・見所マップの作成やボランティアガイド
- ・下刈や植栽作業



昨年のすす払いに参加いただいたボランティアの皆さんです。市長も見に来ました！

## ◆平成22年度はトイレを改修します！

城山の児童公園にある公衆トイレを来年度、改修する計画です。現在の汲み取り式のものから水洗式のトイレにする予定です。工事の際には、登城される皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## ◆三之丸跡工事現場説明会

今年4月に、三之丸跡については、発掘調査の成果を中心に現地説明会を開催しましたが、今回は石垣の修理工事について、実際に石屋さんの作業を見ていただきながら説明します。参加費は無料です。石積みの様子などめったに見れる機会はありませんので、ぜひお越しください。

- 日 時：1月17日(日) 13:00～15:00
- 場 所：三之丸跡 ※集合場所：桑折氏武家長屋門
- その他：舗装されていない場所がありますので、**運動靴**でお越しください。また、駐車場は用意しておりませんので、最寄の**有料駐車場**などを利用ください。



## ■ 問合せ先

市教育委員会 文化課 文化財保護係【Tel】49-7033【Fax】22-5058【Mail】bunka@city.uwajima.lg.jp